



会場いいっぱいの参加者が熱心に聞き入ったパネルディスカッション

永易さんによる おひとりさま ライフプランのコツ

●作っておくべき3つの 書類

- ①本人に代わって承諾する人の指定や尊厳死宣言など医療に関する意思表示書
 - ②判断能力喪失時の財産管理や身上監護の委任予約など（一種のパートナー証明になる）任意後見契約
 - ③遺言

●持っておきたい3つの相談先

- ①からだ（かかりつけ医、訪問医）
 ②お金（保険担当者や独立系のファイナンシャルプランナー）
 ③法律（弁護士や行政書士）

●知っておきたい3つの 地元情報

- ①買い物（配達してくれ
るなど）
②福祉（介護施設など）
③政治家・行政



上野さん

△後 日本の年金
介護・医療制度はどこへ
向かうのか」の質問に、
「あなたはどこへ向けた
いですか。制度を作った

WANの理事長を務める上野千鶴子・東京大学名譽教授は、日本の国民皆保険、健康保険の意義を強調する一方で、「頻繁に改正するのでプロでもよく分からぬ。使い勝手が悪い」と、完全に自己申告なので、自分から使いたいといふ人々に絶対に手を差し伸べてくれないと批判。

選挙参加こそ

て、それが外部に分かる
ような形で表示しておけば、
結婚と同様の内実を
期待できます。これは同
性カップル、性的マイノリティ
に限らず、一人
で生きる人が誰かと助け
あうために役立つ法的ツ
ールといえます」

さらに「なかなかハーダー
ドルが高いようですが」と
断りながら、「老後
そ、自分を含めて何かあ
った時に駆け付けられる
3人のご近所さん」と
勧めました。

自分の意思を きちんと表示して



(左から) 金子、角田、永易、諸星、
萩原の各氏=8日 東京・立教大学

「備えるべきは老後資金。自分は用いぐらあれば暮らせんのかは、3ヵ月家計簿をつけてなれば分かります」「不安がさきやかれる公的年金も、90歳まで生きようが終身もらえる『超お得保障』です」などと「コジ」と問題提起しました。

えるだけの100万円院
金はくすぬよう」に「早
期発見、早期治療。病気
をしないことが第一」

お力ネ
老後：

公的健康保険を熟知するよう強調し、各種保険の見直しをアドバイス。「3カ月入院しても、そ

決めるのは私たち あなた任せはやめて

0兆円）が、国内のメガバンクやトヨタなど内外の大企業の株式に50%を投資されていると指摘し

日本人の課題です。ご一
緒に考えましょう」
シンポは今後も継続し
て開催する予定です。

「政治は人の手でつくり出します。自分の老後の安寧は決めるもの。決めるのは私たち有権者じゃないですか」と答えました。